

記入日	2015年12月13日
所属学部・学科 ／ 研究科・専攻	<input type="checkbox"/> 理工学部 学科 専攻 <input checked="" type="checkbox"/> 理工学研究科 建築学専攻国際プロフェSSIONALコース
留学先国	シンガポール
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 国立シンガポール大学 現地言語: National University of Singapore
留学期間	2014年7月～2015年4月
留学した時の学年	修士1年生(渡航した時の本学での学年)
留学先での学年	学部4年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	School of Design and Environment デザイン環境学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
出発年月日	2014年7月27日
帰国年月日	2015年4月14日
明治大学卒業予定年	2016年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月上旬～12月上旬 2学期:1月上旬～5月上旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学にかかった費用(概算)

留学費用項目	現地通貨(SG\$)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	13000	100万円	1300×10か月
食費	8000	70万円	
図書費	300	2万4千円	
学用品費	2000	16万円	
教養娯楽費	3000	24万円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費		円	形態:長期留学用
渡航旅費	2000	16万円	長期滞在用
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	283000	230万円	

出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

出発前は NUS に留学している方の体験記やブログ、シンガポールに住んでいる日本人の掲示板などで情報収集をしました。

留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: 学生ビザ	申請先: シンガポール移民登録局
ビザ取得所要日数: 1 週間程度 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用:

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?

パスポートコピー 写真 スチューデントパス申請書 英文の健康診断書 HIV 検査診断書
病院で健診後英文診断書を申請。必要な申請書類はすべて NUS 事務よりメールで連絡してもらえます。

具体的な申し込み手順を教えてください。

NUS から申請がシンガポール移民登録局に届いたのち、インターネットで必要情報を記入し写真をアップロードする。数日後仮許可の申請が下りる。シンガポール到着後、学校に通達された日にちと時間に、学校内の施設にてサインを書き込んだ必要書類や健康診断書類を提出してスチューデントパスに引換える。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?

特になし

ビザ取得に関して困った点・注意点

写真のアップロードがスムーズにできなかったこと

留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

携帯電話はSIMフリーの携帯にしておくほうが良いかと思います。現金調達手段として新生銀行の口座を開設しました。

現地到着後のながれ				
1.到着時の様子				
利用航空会社	全日空			
渡航経路	直通便 羽田ーチャンギ国際空港			
渡航費用	チケットの種類:長期滞在用 復路日付変更可能なもの 航空券代:16万円(<input checked="" type="checkbox"/> 往復, <input type="checkbox"/> 往路のみ, <input type="checkbox"/> 復路のみ)			
航空券手配方法	トラベル子ちゃん ※利用した旅行社・旅行サイト, ガイドブック, 格安航空券情報等があれば記入して下さい。			
大学最寄空港名	チャンギ国際空港	現地到着時刻	早朝 6 時	
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	30 分			
空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等				
早朝料金、スーツケース料金含め 30ドル程度				
大学到着日	7 月 29 日 10 時頃			
2.住居について				
到着後すぐに住居入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 月 日 から入居可能だった。		
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他(ホームステイ)			
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()			
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()			
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()			
住居の申込み手順	日本人の現地掲示板で探して、ホストファミリーと直接交渉。			
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?滞在先の感想も書いてください。				
寮に入れるものだと思っていたら、渡航 1 か月前になって入れないという連絡が来ました。滞在先の国での住居を内覧せずに決めることは不安でしたが、部屋を決めてから出発したかったので沢山調べて決断しました。専用の部屋とトイレとシャワーを借りて、キッチンやリビングなどは共有でした。社交的なホストファミリーだったので、大変親しくして頂き現地に家族ができたようでした。渡航直後の不安な時や、体調が悪くなったり、学校が忙しかった時などに特にお世話になりました。				
3.留学先でのオリエンテーションについて				
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった			
日程	7 月終わりから 8 月上旬			
参加必須ですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加			
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)			
内容の様子は?				
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった			
授業開始日	8 月 日 から			
その他、渡航してから必要な手続きについて・現地情報				
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか?いつ、どこで、方法は?日数、料金は?トラブルは?				
特になし。前述の通り、ビザの受け取りのみです。1 日で完了します。				
2. その他現地でした手続きは?(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は?トラブルは?				

3. 現地で銀行口座を開きましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？	
いいえ	
4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？	
はい。永住権がないと割高なプリペイド式しか購入できないということが渡航後にわかりました。日本での携帯は SIM フリーではなかったので解約しており、どうしても購入の必要がある旨をホストファミリーに伝えたところ、もう一台契約していただけました。料金はホストファミリーに毎月支払う形をとっていました。10 か月、毎月 70ドルほど。機種代込みでトータル 1000ドル程度。	
5. 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
なし。 大学内の医務室は無料のようでした。	
6. 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
さまざまな相談窓口がありました。電話でも対応してくれたと思います。基本的なことはホストファミリーに相談しましたが、履修関係は学部の事務の方に直接相談しました。	
7. 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？	
インターネットで危険な地域を調べたり、ホストファミリーに聞いたりしました。そのような場所では、チャックが二重でかけられるタイプのカバンを使用しました。	
8. パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
特に問題なし。	
9. 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。	
インジ。クーラーがどこでもきいているので風邪をひきやすくなります。 ほぼすべてのものが日本の製品でそろえられますが、割高になります。	
履修科目と授業について	
1.履修登録はいつどのような形で行いましたか？	
<input type="checkbox"/> 出発前に(月 日頃)	
<input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input checked="" type="checkbox"/> 志願書類に記入して登録 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 到着後に(月 日頃)	
<input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 国際オフィス等の仲介 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他()	
登録時に留学生として優先されることは	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった
優先が「あった」方はどのように優先されましたか？	
設計スタジオの先生はほぼ100%希望が通るようでした。一般の学生は人数の偏りが出ないように第二希望以下にされることもしばしばありますが、留学生はみな第一希望のスタジオでした。	
優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？	
逆に留学生が受講することのできない授業が多くありました。どうしても受講する必要があった授業は、直接事務と先生に掛け合って受けることができましたが、かなり労力と時間がかかりました。	
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？ また希望通りの授業が取れましたか？	
変更追加可能でした。希望通りだったと思います。	
卒業後の進路について	
1. 進路	

就職 進学 未定 その他:

2. 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

特になし

3. 上記の項目で就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

大林組 (設計部)

明るくオープンな社風が自分にあっていると感じたから。海外事業にも力を入れており、女性も働きやすく見受けられたから。

4. 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。(例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

留学が就職活動の妨げになるかもしれないと考えている方もいるのではないのでしょうか。私もその一人でした。

しかしながら就職活動は自分が行動を起こさなければ何も変わりません。なんとなく情報を得ようと思うよりも、本気になって情報をかき集めたり自分と向き合ったり、履歴書や作品集を作ることにこそ就職活動の意義があると思います。これは情報が限られている留学中だからこそ、本気になって取り組めたことのように感じます。

特に不安になったとき何度も自分の中で反芻していたのは、もしも就職活動に失敗してしまっても転職はできるけれど、留学は今しかないということです。せっかく始めた留学を満喫してその経験をアピールすることが何よりも近道だと考えて精一杯楽しむことを大切にしていました。

日本で友達と情報を共有したり、沢山の学生と説明会などに参加して情報を得ようと思ったりするよりも、海外でインターネットを駆使して情報を得ようとするのは多くの時間と労力がかかります。しかしながらそこから情報を得て企業に積極的にアプローチしていくと思いのほか他の学生より目立った存在になることも可能です。たとえば私は内定先にエントリー後、学内説明会のお知らせをメールでいただきました。その際留学中である旨と興味があることを連絡いたしました。その後作品集をメールで確認していただき、シンガポールに駐在されている方に面談していただけることになりました。英語で建築をされている方に作品のプレゼンテーションを日英両方でさせていただき、推薦をいただいて帰国後面接に参加できるように取り計らっていただきました。通常よりもかなり遅いスタートにはなってしまった就職活動ですが、スタートからわずか1か月あまりで内定をいただきました。この内定が頂けたのは留学中ゆえに行動を能動的に起こせたことが大きく関係しているように思います。

また、特に留学中は些細なことでも日記やメモを多くとるように心がけましょう。後々就職活動で自分の留学中の経験や成長、失敗を語る上での具体的なエピソードとして役立ちます。またプレゼンテーションやグループワークの機会があればその様子を写真に収めておきましょう。より印象的にエピソードを伝えられるようになると思います。

5. 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6. 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7. その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00	勉強	授業	勉強	勉強			
10:00	勉強	授業	勉強	勉強			
11:00	勉強	勉強	勉強	勉強	授業		
12:00		勉強	勉強		授業		
13:00		勉強	勉強				
14:00	授業	勉強	勉強	授業			
15:00	授業		勉強	授業			
16:00	授業	授業	勉強	授業	授業		
17:00	授業	授業	勉強	授業	授業		
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							

※単位認定結果に関する項目は理工学部事務室にて記入します。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
28 モジュール 18単位	<input checked="" type="checkbox"/> 10単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Design 7	設計7
科目設置学部・研究科	設計デザイン学部 建築学科
履修期間	2014年8月～11月
単位数	8 モジュール
本学での単位認定状況	(Design8 と併せて)6単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に240分が2回
担当教授	タン・ビン・キャン
授業内容	設計デザインスタジオ
試験・課題など	エスキースとプレゼンテーションとワークショップ
感想を自由記入	スタジオは内容をpdfで確認後希望が提出できます。住宅系のスタジオでグループワークが多く大変でしたが、シンガポール政府の方に発表するなど貴重な経験ができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Research Methodology	リサーチ理論
科目設置学部・研究科	設計デザイン学部 建築学科
履修期間	2014年8月～11月
単位数	4 モジュール
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	ヨハネ・ヴィド
授業内容	論文作成に当たって行うリサーチの方法について学びます
試験・課題など	試験はありません。論文の仮説を立てて、リサーチ方法を提案する課題が二度出されます。また毎授業で資料を読み、プレゼンテーションが行われます。これはグループ形式で行われ、一人一度参加する必要があります。
感想を自由記入	課題は大変ですが、プレゼンテーションはグループワークなので他の学生が助けてくれます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Design 8	設計8
科目設置学部・研究科	設計デザイン学部 建築学科
履修期間	2015年1月～4月
単位数	8 モジュール
本学での単位認定状況	(Design7 と併せて)6単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 240 分が2回
担当教授	ハンズ・パウアー
授業内容	設計デザインスタジオ
試験・課題など	エスキースとプレゼンテーション
感想を自由記入	都市から建築までを解くスタジオでした。個人なのでやる気はありますが、先生は自由に設計させてくれます。積極的に後押ししてくれるタイプの方で、大変楽しんで取り組むことができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Advanced architectural technology	建築技術
科目設置学部・研究科	設計デザイン学部 建築学科
履修期間	2014年8月～2015年4月
単位数	4 モジュール
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が1回
担当教授	ハンズ・パウアー
授業内容	ディテール設計について
試験・課題など	不定期のチュートリアルが前期に全5回ほど後期は自分の設計したものの詳細を作成し提出する課題があります。
感想を自由記入	前期はグループワークで後期は自分の課題にかんする事なので勉強になりますし、比較的単位がとりやすいと感じました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Assessment of sustainable design	サステナブルデザインの評価
科目設置学部・研究科	設計デザイン学部 建築学科
履修期間	2015年1月～4月
単位数	4 モジュール
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が1回
担当教授	
授業内容	環境分野
試験・課題など	3回ほどの課題とプレゼンテーションがありました。
感想を自由記入	課題が難解でした、おすすめしません。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2014年 1月～3月	
4月～7月	NUS へアプライ 正式受け入れ決定 7月到着
8月～9月	8月授業開始
10月～12月	11月授業終了
2015年 1月～3月	1月後期授業開始
4月～7月	4月後期授業終了
8月～9月	
10月～12月	
年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと思った理由	<p>建築を英語でできる力を手に入れたかったからです。もともと英語力の習得には力を入れていましたが、就職にあたりより専門的な英語力を身に着けたいと考え、英語が母国語の国で留学することを決意しました。</p> <p>本留学以前にも3か国ほど短期のサマースクールに通ったことがあり、基礎的な英語力には自信がありました。しかし、専門的な話をワークショップなどで他国の学生たちとする際などに、私の英語力や意見をまとめて発信する力は不十分だと感じるようになりました。そこで、専門である建築デザインのために留学したいと思うようになりました。</p>
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	<p>大量に資料を読んだり、プレゼンテーションをしたり、ディスカッションに参加したりすることが多くあります。英語力やコミュニケーション力はもちろんですが、速読能力と意見をまとめる力も身につけられるように努力すべきだったと思いました。論理的に考え、シンプルに提案する力を身につければディスカッションなどでも役に立つ力が身につけられると思います。速読のために英字新聞などを読んで、訓練すべきだったとも思います。</p>
この留学先を選んだ理由	<p>英語が第一言語の国であることを重視していました。さらに、建築デザインが学べる留学先であることが必須条件でした。その際、選択肢としてあったのは都市部にあるシンガポール大学と他国の都市部から離れた大学でした。私は育った環境が都市部なので、それにより近い環境であるシンガポールを選択しました。これは、留学先での勉強を優先するために、生活面や環境面その他の不安や負担ができるだけ少ない環境を希望していたからです。</p>
大学・学生の雰囲気	<p>シンガポール大学は、シンガポール人だけでなくさまざまな周辺国の優秀な学生たち、および多くの留学生が学ぶ場です。そのため、学生たちの出身国はまるで小さな地球のような多様性でした。特に中心となるアジアの学生たちは大変まじめで熱意をもって授業に取り組んでいます。さらに留学生たちは優秀でありながら、オンオフの切り替えが非常にうまく、勉強だけでなく休暇も大変積極的に楽しんでいました。それぞれ違った良さを持っているため、大変学ぶことが多かったと感じています。</p> <p>大学の校舎は、南国の熱帯気候に位置しているために大変開放的で明るい雰囲気です。</p>
寮の雰囲気	<p>寮には滞在していなかったのでもわかりません。</p>
交友関係	<p>寮に滞在できなかったために留学当初は友達ができるか不安でした。しかし、ガイダンスで近くの席になった人に積極的に声をかけたり、留学生向けのイベントに積極的に参加して友達を増やすようにするなど工夫していました。</p> <p>普段は留学先の学部の友達と大部分の時間を過ごしました。授業準備が多忙だったのでいつも一緒にいるようになりました。徹夜続きの日々は大変過酷でしたが、彼等との仲が大変深まり旅行などにも出かけるようになりました。</p> <p>ホームステイをしていたので、シンガポール人の家族と親しくなり一緒に夕食を食べたり買い物に行ったりしていました。学生ではない彼らと接する中で、シンガポールの違った一面を知ることができました。</p>
困ったこと、大変だったこと	<p>一人暮らしが初めてだったので、風邪をひいて体調を崩した際は苦労しました。1ヶ月以上調子が戻らず課題や授業に全力で取り組むことがなかなかできず、ストレスが溜まってしまいました。無理をすると蕁麻疹が出てしまいました。</p>

<p>学習内容・勉強 について</p>	<p>私は建築デザインを専攻していました。グループワークが多く、授業準備もハードです。他の学生と長時間一緒に課題に取り組むので、協調性やコミュニケーション能力が問われますが、仲良くなるチャンスも多いです。</p> <p>授業でもディスカッションやチュートリアルが多く、課題の読み物やプレゼンテーションも多くあります。専門用語や現地では共通認識されているようなことがわからず苦労することもありました。しかし、きちんと準備をして取り組めば、周りの学生や教授陣は必ず助けてくれます。またこういった積み重ねることで、専門知識や語学力を急速に伸ばすことも可能だと思います。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>建築学科は試験は少ないですが、日々の課題やチュートリアルの回数が膨大で、プレゼンテーションも多いです。</p> <p>英語でのプレゼンテーションは日本語と違ったところも多いです。事前準備を人一倍しなければならぬので作業は大変ですが、その分学べることも多いかと思えます。一生懸命熱心に取り組めば周りの学生や先生も助けて下さいますし、言語にかかわらず生きる力が手に入れられるかと思えます。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>シンガポールは多民族国家なので様々な民族のイベントが多くあります。これらには積極的に参加して、文化や国への理解を深めていました。チャイナタウンやリトルインディアで行われるお祭りや旧正月、シンガポールの建国記念日などがあります。</p> <p>また学外活動やクラブが盛んだったので、スキューバダイビングクラブのキャンプに参加して、ライセンスを取得しました。キャンプを通して新しい友達が出来たり、新しい趣味が出来たりして、とてもいい息抜きになりました。</p>
<p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと、アドバイス等</p>	<p>専門的な学科から留学すると、苦労することも多いかと思えます。ですが、そこで精一杯熱意を持って努力することで、一回りもふた回りも成長できる可能性があります。</p> <p>また、帰国後も専門職で英語ができることは就職活動において大きなアピールにもなります。自分自身の働き方もより多様性をもって考えられると思えます。</p> <p>様々な理由で留学に対して迷いが生じることがあるかもしれませんが、是非勇気を持って一歩を踏み出してみてください。一生懸命頑張れば必ず一生ものの経験と力が身につけられるはずです。</p>